

平成29年9月3日
今週のベストショット



青松園B 三苦フレンズ 対 三友クラブ
好調のフレンズ打線を2安打完封した三友クラブ平田投手
写真：奈多フェニックス 能丸 英和

奈多グラウンド 三苦ホーネッツ完勝で首位追走！

三苦ホーネッツ (8勝1敗) 0062111 11 川原○-広木、三浦

雁の巣ライナーズ (4勝4敗) 0020000 2 有馬●-明瀬(航)

HR：矢野(三苦ホ) 3BH：山崎(三苦ホ) 2BH：川原、松尾、三浦(三苦ホ) 明瀬(旭)(雁の巣)

9月に入り多少涼しくなり、かつ快晴で絶好のソフトボール日和となったこの試合、朝6時30分に両チームとも準備が終わり、お互い意識の高さを感じさせた。ライナーズの先発は緩急自在有馬投手。ホーネッツの先発はキレッキレの若武者川原投手。初回、二回と有馬投手の立ち上り、四球でランナーを出したものの強打のホーネッツ打線を無安打に抑える最高の立ち上りを見せる。それに負けじと川原投手の立ち上り、こちらも四球を出すもののライナーズ打線を無安打に封じた。有馬投手は打たせて取り、川原投手はキレのあるボールで三振を多くとった。このまま投手戦になるかと思っただが、三回強打のホーネッツ打線が襲いかかった。先頭の三浦選手がチーム初安打をレフト前へ運ぶと、九番松尾選手の送りバントが内野安打となり続く一番矢野選手の送りバントがエラーを誘い無死満塁。ここでこの回コントロールを乱していた有馬投手が連続ワイルドピッチでホーネッツが2点を先制した。その後一死とるも連続タイムリーヒットにエラーも絡み計6点を奪った。その裏のライナーズの攻撃、先頭の山本選手がセンター前に運び出塁、その後九番南選手が送りバントを決めたかに思えたが、ホーネッツ三塁手矢野選手が素早いチャージから二塁送球で封殺。6点差ついた場面で、この隙の無い守備がホーネッツの意識の高さをうかがわせた。しかしまだ諦める訳にはいかないライナーズ打線、一番にかえり明瀬(旭)選手が二塁打を打ち1点を返し、続く今林選手がタイムリーヒットを打ち2点を返した。四回、2点を返されたホーネッツの攻撃、先頭バッターは先程好フィールディングを見せた矢野選手、有馬投手の高めのボールを叩き

センター右への特大ホームラン、続く山崎選手が三塁打を放ち三番稲葉選手の犠飛でとられた2点を取り返した。その後は一回に1点ずつ追加して、七回で計11点を奪った。一方ライナーズ打線の方は、四回以降川原投手に無安打に抑えられた。11-2と点差は開いたものの、両投手とも四球も少なくテンポが良かった。守備陣も締まっていて見ていて気持ちの良い試合だった。勝ったホーネッツは、自慢の強打で大量点を取り、球際の強さで好守備を連発して最少失点に抑えた。負けたライナーズは、エラーとワイルドピッチで一挙6点取られたのが痛かった。(記事・写真：和白新町パイレーツ 岩本 喬)



朝早くに全員揃う、意識の高い両チーム。



ライナーズ先発、好投手有馬投手。



躍動感のあるフォーム、ホーネッツ先発川原投手。



ワイルドピッチでホームにスライディング松尾選手。



タイムリーヒットを放った、ホーネッツ稲葉選手。



本塁打と攻守備を連発したチームの核矢野選手。



反撃の狼煙の二塁打を放ったライナーズ明瀬 旭選手。



タイムリー安打のライナーズ今林選手。



矢野選手の本塁打で盛り上がるホーネットベンチ。

青松園B 大記録達成なるか・・・

三苦フレンズ (8勝2敗) 0000000 0 山口●ー佐藤 (由)

三友クラブ (5勝4敗1分) 010010× 2 平田○ー遠山

三苦フレンズの先攻で始まった一回表、先頭の生野(拓)選手がショートのエラーで出塁すると、すぐさま盗塁を試みるも遠山捕手の完璧な送球で盗塁失敗。後続も打ち取られ三人で攻撃が終了する。その裏の三友クラブもランナーを出すものの後続が続かず無得点に終わる。試合が動いたのは二回裏、二死から尾澤選手、谷崎選手の連打で一三塁にすると、駄原選手の打席で一塁ランナーが飛び出し、佐藤捕手が一塁へ送球する間に三塁ランナーが生還し三友クラブが先制点を挙げる。追い付きたい三苦フレンズだったが平田投手の前にエラーで出塁するのがやっとの状況。三友クラブも追加点が欲しいところだったが6者連続三振をするなど追加点が取れない。緊迫した投手戦の中、次の1点が入ったのは三友クラブだった。五回裏一死から駄原選手がヒットで出塁すると、ワイルドピッチで二塁に進み、中内選手の高く弾んだゴロがレフトに抜ける間に駄原選手が一気にホームインし追加点を挙げる。追加点をもらった平田投手は六回まで三苦フレンズ打線にヒットを許さず、ノーヒットノーラン達成の期待が高まる中、最終回のマウンドへ上がる。なんとか阻止したい三苦フレンズは二番からの好打順。しかし先頭打者が一塁フライに打ち取られてしまう。続く吉村(雄)選手、打った打球がフラフラとセンター方向へ。懸命に追うセカンドとセンター、しかし打球はセンターの前へポトリと落ちてしまう。大記録まで、あと二死というところで初ヒットを許してしまう。一気に畳み掛けたい三苦フレンズは続く佐藤(由)がセンター前ヒット。その間に一塁ランナーが三塁を狙うがセンター尾澤選手のレーザービームでタッチアウト。後続も打ち取られ試合終了。長打こそ出なかったが、守備の一瞬の隙をついた三友クラブの攻撃とノーヒットノーランこそ逃したものの2安打完封勝利した平田投手は見事でした。(記事・写真：奈多フェニックス 能丸 英和)



2安打完封勝利の三友クラブ平田投手。



力投するフレンズ山口投手。



一回表、フレンズ生野選手を刺す三友クラブ。



ガッツ溢れるプレーの佐藤 博将選手。



ファールチップが直撃し負傷交代する今林審判。



追加点のホームを奪う駄原選手。

青松園A 逆転、逆転！

ブルーマーリンズ (10敗) 0 1 0 0 0 5 6 末松●ー井上(広)
 ソルトベイスターズ (1勝7敗2分) 1 0 3 1 0 2 × 7 中村、黒崎○ー大門
HR: 糸井(ブルー) 真弓(ソルト) **2BH**: 谷山、末松(ソルト)

涼しさを感じる9月第1週の試合は一回裏から動く。四球3個、ワイルドピッチ2回と制球の定まらないブルーマーリンズ末松投手の立ち上がりには犠打、盗塁を絡めたソルトベイスターズが無安打で1点を先制する。Bマーリンズも二回表に四番糸井選手が本塁打を放ち同点に追いつくが、三回から登板した黒崎投手を相手に、安打を放つものの追加点を挙げるができない。追いつかれたソルトは三回裏、五番真弓選手が年齢を感じさせな

い豪快な3ランを放ち一気に優位に立つ。このまま試合が進行し、五回裏を終了した時点で残り時間も数分。誰もがソルトの勝利を確信していたが、Bマーリンズは諦めない。六回表、先頭横山選手、続く代打田中選手が共に内野安打で出塁すると、送りバントに失策が絡み無死満塁、一死後死球で1点、二死後児玉選手の適時打で1点、更に末松選手の適時二塁打で2点、計4点を挙げ同点。なお二死二三塁の一打逆転のチャンスに四番糸井選手の打球はセンター前への安打。三走児玉選手が逆転のホームを踏み、二走末松選手も果敢に本塁突入したが、惜しくもタッチアウト。Bマーリンズは後一步追加点を奪えなかった。この時点で1時間15分を経過しており、勢いは明らかにBマーリンズが上。ソルトベンチには緊張が漲っていたが、先頭の石井選手は落ち着いて四球で出塁すると、続く中村選手も四球を選ぶ。WPで二三塁とすると捕手エラーで同点。そして四番酒井選手が鮮やかなレフトへの逆転サヨナラ安打を放ち、この熱戦を終了させた。見ているほうには面白く、両監督には心臓に悪い好ゲームとなった。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦、写真：橋村 明浩）



気合の入ったブルーマーリンズの試合前。



勝ち投手のソルトベイスターズ黒崎投手。



二回表、本塁打を放つブルーマーリンズ糸井選手。



三回裏、勝ち越し3ランを放つソルトベイスターズ真弓選手。



六回裏、サヨナラヒットを放つソルトベイスターズ酒井選手。

第19週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第19週9月3日は壮年ソフトへの参加チームがあった影響で3試合が行われました。

奈多グラウンドの三苦ホーネッツ対雁の巣ライナーズ戦は、三回表ホーネッツが6安打と相手エラーに乗じて一挙に6点を挙げると四回以降もコンスタントに得点を重ねて計11点。何とか食い下がろうとするライナーズだったが、三回裏に2点を返すのがやっと。ヒットもこの回だけの3安打に抑え込まれ、11-2でホーネッツの勝利。ホーネッツ川原投手は、ライナーズの得点力の高い三～七番まで無安打に抑えたのがよかった。

青松園Bの三苦フレンズ対三友クラブ戦は、何とか1敗を死守したいフレンズだったが、三友クラブ平田投手の前にエラーの走者2人を出しただけで手も足も出ない。三友クラブは二回裏二死からフレンズ山口投手から連打とうまい走塁で1点先制すると、五回裏一死から連打とWPで追加点を挙げる。この日の平田投手は七回裏に連打を浴びノーヒットノーランは無くなったが、三塁を踏ませないピッチングで見事完封。0-2で三友クラブが勝利した。

青松園Aのブルーマーリンズ対ソルトベイスターズ戦は、いまだ勝ち星のない両チームの対決。4点ビハインドで迎えた六回表ブルーマーリンズは、4安打と死球、相手エラーなどで一挙に5点を取って逆転。追いつきたいソルトはその裏、2四球とWP、捕手エラーで同点として四番酒井選手が見事逆転サヨナラ打を放ち四番の役目を果たした。

1敗で並ぶフレンズとホーネッツに明暗が分かれ、これで全勝の奈多クラブを1敗でホーネッツ、2敗でフレンズが追う展開となった。

Go! Do! 飲み会2017は、初の試みとして前に行われる9月の運営会議も味平で行います。

9月6日現在29名の参加者となっています。

当日ドタキャンは無しでお願いします。

もし来れなさそうなら、代わりのどなたかを出してください。

また、当日増える分は何かしましょう。